2024年2月期 第2四半期決算短信（日本基準）（連結）

2023年10月10日

上場会社名　タビオ　株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2668　URL https://tabio.com/jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）越智　勝寛
問合せ先責任者　（役職名）取締役財務部長　（氏名）関　淑東　TEL 06-6632-1200
四半期報告書提出予定日　2023年10月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	7,540	7.4	240	386.3	247	283.2	195	―
2023年2月期第2四半期	7,017	18.8	49	―	64	―	△59	―

（注）包括利益　2024年2月期第2四半期　196百万円　（―%）　2023年2月期第2四半期　△61百万円　（―%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	28.76	―
2023年2月期第2四半期	△8.79	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	7,618	4,022	52.8
2023年2月期	7,733	4,019	52.0

（参考）自己資本　2024年2月期第2四半期　4,022百万円　2023年2月期　4,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	―	0.00	―	30.00	30.00
2024年2月期	―	0.00			
2024年2月期（予想）			―	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2024年 2月期の連結業績予想（2023年 3月 1日～2024年 2月29日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,581	2.1	450	△11.3	460	△13.1	313	34.7	46.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	6,813,880 株	2023年2月期	6,813,880 株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	13,530 株	2023年2月期	23,933 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	6,794,405 株	2023年2月期2Q	6,806,409 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（会計方針の変更） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（2023年３月１日～2023年８月31日）における国内経済におきましては、新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行により、行動制限や入国規制が解除され、経済活動の正常化が進みました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や為替相場の急激な変動による商品・サービス価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内衣料品販売におきましては、外出機運の高まりによる人流の増加に加え、円安によるインバウンド需要の拡大などにより堅調に推移しました。また、お客様の消費行動が従来のジャーニー型に加えてパルス型も出来してきており、最新トレンドに対応できる臨機応変で迅速な生産体制の構築及び販売手法の確立が求められております。

このような状況の中で当グループは、メンズ売上をレディース売上と並ぶ柱にするという中期的な目標の下、メンズ顧客層の拡大及びメンズ商品の認知度向上を目的に、俳優・窪塚洋介氏を『Tabio MEN』の公式アンバサダーに起用しました。インスタグラムによる動画発信などへの反響も大きく、メンズブランドの認知度向上に大きく寄与しております。

またパルス型消費に対応できる生産体制の構築及び販売手法の確立を目的に、定番商品の内覧会の開催時期を変更いたしました。これにより、定番商品の安定した生産とトレンド商品の需要に即応できる生産の両立に向けた商品供給体制の見直しを行っております。販売面におきましてはEC・店舗共通の販促企画の立案やWEB・SNSでの発信力強化を目的に、国内EC部門を部署間横断チームとする社内体制の変更を行っております。

なお当社は、2023年３月10日に創業55周年を迎えました。「靴下業界の良心たれ」という創業者の熱い想いに向き合いながら、「熱愛」「顧客中心」「不易流行」「和」の経営理念のもと、モノづくりやお店づくり、人づくりに決して妥協することなく、国内協力工場の皆様やフランチャイジーの皆様とも強いパートナーシップを築き、今後もお客様にとって最高の商品づくりとお店づくりを目指してまいります。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店２店舗、直営店３店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店４店舗、直営店２店舗の退店により、当第２四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店112店舗（海外代理商による27店舗を含む）、直営店160店舗（海外４店舗を含む）、合計272店舗となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は7,540百万円（前年同期比7.4％増）となりました。内訳は、国内専門店事業で5,986百万円（前年同期比7.8％増）、国内EC事業で861百万円（前年同期比4.8％減）、海外・スポーツ卸事業692百万円（前年同期比23.5％増）と好調に推移しました。利益面では、営業利益240百万円（前年同期比386.3％増）、経常利益247百万円（前年同期比283.2％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益195百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失59百万円）となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期（３月～８月）に比べ下半期（９月～２月）に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、土地419百万円、投資その他の資産のその他201百万円増加しましたが、現金及び預金851百万円の減少があったこと等により、前連結会計年度末と比べて115百万円減少し、7,618百万円となりました。

負債については、買掛金68百万円、賞与引当金47百万円増加しましたが、電子記録債務120百万円、長期借入金108百万円の減少があったこと等により、前連結会計年度末と比べて119百万円減少し、3,595百万円となりました。

純資産については、配当金の支払い203百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益195百万円の計上、自己株式11百万円の減少等により、前連結会計年度末と比べて3百万円増加し、4,022百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の52.0％から52.8％に増加しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ851百万円減少し、1,750百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益239百万円の計上、棚卸資産の増加116百万円、仕入債務の減少52百万円があったこと等により、56百万円（前年同期△336百万円）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出310百万円、投資有価証券の取得による支出200百万円があったこと等により、△537百万円（前年同期△142百万円）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額201百万円、長期借入金の返済による支出109百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出64百万円があったことにより、△375百万円（前年同期△385百万円）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年２月期における通期の連結業績予想については、2023年４月11日に公表しました業績予想から変更しておりません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年２月28日)	当第２四半期連結会計期間 (2023年８月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,601,731	1,750,044
受取手形及び売掛金	705,999	751,511
商品	663,026	781,170
貯蔵品	432	569
その他	127,061	174,757
貸倒引当金	△3,064	△1,998
流動資産合計	4,095,188	3,456,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	560,100	556,066
土地	1,182,654	1,601,791
その他（純額）	326,482	249,603
有形固定資産合計	2,069,238	2,407,461
無形固定資産	339,233	331,238
投資その他の資産		
差入保証金	1,062,118	1,053,591
その他	168,204	369,695
投資その他の資産合計	1,230,322	1,423,286
固定資産合計	3,638,794	4,161,985
資産合計	7,733,982	7,618,041
負債の部		
流動負債		
買掛金	533,532	602,528
電子記録債務	623,442	502,984
1年内返済予定の長期借入金	222,757	221,562
未払法人税等	73,235	71,067
賞与引当金	136,103	183,512
資産除去債務	－	13,039
その他	784,023	746,137
流動負債合計	2,373,095	2,340,833
固定負債		
長期借入金	340,221	231,285
退職給付に係る負債	325,800	332,969
資産除去債務	316,278	307,927
その他	359,448	382,280
固定負債合計	1,341,748	1,254,462
負債合計	3,714,844	3,595,296

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年２月28日)	当第２四半期連結会計期間 (2023年８月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,525
利益剰余金	3,515,914	3,507,590
自己株式	△24,805	△13,608
株主資本合計	3,998,323	4,001,295
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,768	△4,774
退職給付に係る調整累計額	27,582	26,223
その他の包括利益累計額合計	20,814	21,448
純資産合計	4,019,137	4,022,744
負債純資産合計	7,733,982	7,618,041

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2022年３月１日 至 2022年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2023年３月１日 至 2023年８月31日）
売上高	7,017,544	7,540,235
売上原価	3,039,883	3,242,914
売上総利益	3,977,660	4,297,321
販売費及び一般管理費	3,928,199	4,056,781
営業利益	49,461	240,539
営業外収益		
受取利息	0	90
仕入割引	5,066	5,668
為替差益	2,749	4
助成金収入	6,109	－
その他	3,696	3,839
営業外収益合計	17,621	9,603
営業外費用		
支払利息	2,232	2,245
その他	301	533
営業外費用合計	2,534	2,778
経常利益	64,548	247,364
特別損失		
固定資産除売却損	2,833	1,223
賃貸借契約解約損	678	－
役員特別功労金	79,900	－
社葬費用	21,888	－
減損損失	987	6,336
特別損失合計	106,287	7,559
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△41,738	239,804
法人税、住民税及び事業税	9,443	46,106
法人税等調整額	8,627	△1,675
法人税等合計	18,070	44,430
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△59,809	195,373
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△59,809	195,373

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2022年３月１日 至 2022年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2023年３月１日 至 2023年８月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△59,809	195,373
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△806	1,993
退職給付に係る調整額	△434	△1,359
その他の包括利益合計	△1,240	634
四半期包括利益	△61,049	196,007
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△61,049	196,007
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2022年３月１日 至 2022年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2023年３月１日 至 2023年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△41,738	239,804
減価償却費	95,981	116,438
減損損失	987	6,336
貸倒引当金の増減額（△は減少）	661	△1,066
賞与引当金の増減額（△は減少）	25,753	47,409
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△31,389	－
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	11,651	5,210
受取利息及び受取配当金	△0	△90
支払利息	2,232	2,245
助成金収入	△6,109	－
役員特別功労金	79,900	－
固定資産除売却損	2,833	1,223
売上債権の増減額（△は増加）	△71,981	△45,423
棚卸資産の増減額（△は増加）	△70,486	△116,947
仕入債務の増減額（△は減少）	△126,981	△52,027
契約負債の増減額（△は減少）	36,433	△3,373
その他の資産の増減額（△は増加）	△52,058	△47,117
その他の負債の増減額（△は減少）	1,368	5,744
未払消費税等の増減額（△は減少）	△80,731	△58,537
小計	△223,673	99,829
利息及び配当金の受取額	0	90
利息の支払額	△2,482	△2,461
助成金の受取額	6,109	－
役員特別功労金の支払額	△79,900	－
法人税等の支払額	△36,187	△41,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	△336,133	56,173
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,754	△310,676
有形固定資産の除却による支出	△14,386	△4,728
無形固定資産の取得による支出	△56,454	△41,002
出資金の回収による収入	30	－
投資有価証券の取得による支出	－	△200,000
その他の支出	△38,818	△7,900
その他の収入	9,700	26,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,684	△537,503
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△109,622	△109,622
自己株式の取得による支出	△8,163	－
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△63,708	△64,059
配当金の支払額	△203,885	△201,387
財務活動によるキャッシュ・フロー	△385,379	△375,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,829	4,712
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△862,368	△851,686
現金及び現金同等物の期首残高	2,834,994	2,601,731
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,972,626	1,750,044

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年６月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第１四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27−２項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。